

科目分類	看護専門科目（救急・災害看護学）	開講時期	1・2年	後期		
研究キーワード	救急外来・トリアージ・原子力災害					
科目名	救急・災害看護学演習					
英文	Seminar of Emergency Disaster Nursing					
選択／必修	選択	単位数（時間数）	2単位	30時間	授業形態	演習
担当教員	高原 美樹子・杉浦 良啓・河合 正成・池原 弘展・山崎 加代子					
メールアドレス	m-takahara@tsuruga-nu.ac.jp（高原） y-sugiura@tsuruga-nu.ac.jp（杉浦） m-kawaai@tsuruga-nu.ac.jp（河合） h-ikehara@tsuruga-nu.ac.jp（池原） yamazaki@fpu.ac.jp（山崎）	オフィスアワー	授業前後に対応します。			

授業目的	救急看護学、クリティカル看護学、災害看護学の各特論で学習した内容を受けて、実践的内容を取り入れた演習を通して救急・災害看護を身に付ける。
授業概要	救急患者の初療時のアプローチ、主要症状から緊急度、重症度を判断して診断に至る医療の在り方、看護師が果たす役割について学ぶ。また、クリティカルな患者の病態把握、危機状態にある患者・家族の支援の在り方について学ぶ。 災害時の看護については、機会があれば現場に出向いたり、被災しつつ看護を実践した医療者の体験を聞く。また、地域や施設の防災訓練などにも積極的に参加し、その必要性や課題について学ぶ。さらに、原子力防災の初期対応についても、知識・実践力を身につける。
授業計画	第1～4回 ACLS コース・PTLS コースへの参加を通して、救急外来でのトリアージ、初療時の患者へのアプローチの方法を学ぶ 第5・6回 初療時のアプローチにおける看護師の役割(家族支援含む)を学ぶ 第7・8回 クリティカル領域における患者・家族の支援について学ぶ 第9・10回 災害発生時に、現場の状況の実際を知るため、災害現場への参加や、災害現場で実際に活動した看護師の体験談を聞き、災害看護の学びを深める 第11・12回 原子力災害時の初期対応(養生、除染など)について学ぶ 県主催の「原子力防災訓練」への参加の機会を設け、広い視点から原子力災害時の看護について学ぶ 第13・14回 放射線看護研修会への参加を通して、放射線看護について学ぶ 第15回 まとめ

教材 参考文献等	必要に応じて提示する
成績評価 基準・方法	プレゼンテーション 50%、課題レポート：50%
履修要件	救急・災害看護学分野の特論を履修していること。
関連科目	なし
留意事項 その他	なし